

平成 25 年 6 月 13 日
株式会社 東京金融取引所

金利先物等取引のシステム更改に伴う制度の一部変更について

平素は、本取引所の運営に関し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本取引所では、平成 26 年 2 月を稼働目標として金利先物等取引に係るシステムの更改を予定しておりますが、これに伴い、本取引所の同取引に係る制度を一部変更することを検討しております。

これに係る制度要綱（案）は、別添の通りです。

以 上

次期システム導入後の金利先物等取引に係る制度要綱（案）

平成25年6月13日
株式会社 東京金融取引所

項 目	内 容	備 考												
I. 次期システム導入の目的・時期	<ul style="list-style-type: none"> 本取引所は、金利先物等取引に係る取引システムについて、(1) ハードウェアの経年劣化への対応、(2) 利用頻度の低い機能の削減によるシステム処理の効率化、を目的とし、富士通株式会社開発のシステム（以下「次期システム」）を導入する。 次期システムは、平成26年2月の稼動を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行システムのLIFFE CONNECT®は、平成20年4月に更改した。 清算システムについては、現行から変更なし。 												
II. 制度概要														
1. 市場運用時間	<ul style="list-style-type: none"> 通常日における市場運用時間は、下表の通り。 <table border="1" data-bbox="535 754 1296 1101"> <thead> <tr> <th colspan="2">市場運用時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プレオープン時間帯</td> <td>8:30～8:45</td> </tr> <tr> <td>日中（午前）取引時間帯 （付合せ時間帯）</td> <td>8:45～11:30</td> </tr> <tr> <td>取消・数量削減専用時間帯</td> <td>11:30～12:30</td> </tr> <tr> <td>日中（午後）取引時間帯 （付合せ時間帯）</td> <td>12:30～15:30</td> </tr> <tr> <td>夜間取引時間帯 （付合せ時間帯）</td> <td>15:30～20:00</td> </tr> </tbody> </table>	市場運用時間		プレオープン時間帯	8:30～8:45	日中（午前）取引時間帯 （付合せ時間帯）	8:45～11:30	取消・数量削減専用時間帯	11:30～12:30	日中（午後）取引時間帯 （付合せ時間帯）	12:30～15:30	夜間取引時間帯 （付合せ時間帯）	15:30～20:00	<ul style="list-style-type: none"> 本取引所が必要と認めるときは、付合せ時間等を臨時に変更することがある。 システム障害等により市場を一時停止した後取引を再開する場合も、プレオープン時間帯を設ける。
市場運用時間														
プレオープン時間帯	8:30～8:45													
日中（午前）取引時間帯 （付合せ時間帯）	8:45～11:30													
取消・数量削減専用時間帯	11:30～12:30													
日中（午後）取引時間帯 （付合せ時間帯）	12:30～15:30													
夜間取引時間帯 （付合せ時間帯）	15:30～20:00													
2. 呼び値（注文）														
(1) 呼び値の種類	<ul style="list-style-type: none"> 呼び値の種類は以下の2種類とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 呼び値とは、取引を成立させるために行う価格又はストラテジー価格の限度の意思表示をいう。 												

項 目	内 容	備 考
①指値呼び値 (指値注文)	<ul style="list-style-type: none"> 指定された価格又はそれより有利な価格にて取引が成立する呼び値をいう。 一部数量のみでの取引も成立する。未約定数量がある場合は、取引が成立又は取消されない限り、発注を行った営業日の夜間取引時間帯終了時（夜間取引を行わないときは日中取引時間帯終了時）まで効力を有する。 プレオープン時間帯及び付合せ時間帯に入力することができる。 	
②成行呼び値 (成行注文)	<ul style="list-style-type: none"> 価格が指定されずに発注され、順次対当する最良価格の呼び値との間で取引が成立する呼び値をいう。 一部数量のみでの取引も成立する。未約定数量がある場合は、直ちに効力を失う。 プレオープン時間帯及び付合せ時間帯に入力することができる。ただし、プレオープン時間帯に入力する場合は、必ず寄付条件を付すものとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 流動性の低い限月若しくは銘柄にて執行されたとき又は市場価格の変動性が大きい場合に執行されたときは、予想以上に高い価格又は低い価格にて取引が成立することがある。 寄付条件については、2(2)①「寄付条件」を参照。
(2) 条件の種類	<ul style="list-style-type: none"> 呼び値を行う際に付すことができる条件は、下記の通り。 	<ul style="list-style-type: none"> 次期システムにおける条件の種類は、利用頻度の高いものに限定し、残数量取消条件（IC条件）、全数量約定条件（CV条件）、最小数量約定条件（MV条件）及び複数限月／銘柄一括約定条件（CMO条件）は削除する。
①寄付条件	<ul style="list-style-type: none"> プレオープン時間帯に発注される成行注文に付され、日中取引時間帯開始時に3. (2) に定めるアンクロッシング価格にて対当する成行注文との間で取引が成立し、未約定数量がある場合は、当初の成行注文が当該価格による指値注文に変換されるという条件。 アンクロッシング価格が算出されない限月及び銘柄については、プレオープン時間帯終了時に自動的に取消される。 	<ul style="list-style-type: none"> 寄付条件が付された成行注文を寄付注文という。

項 目	内 容	備 考
②有効営業日指定条件 (GTC(Good Till Cancelled)条件)	<ul style="list-style-type: none"> 指定された営業日の取引時間帯終了時まで効力を有するという条件。 指値注文にのみ付することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 営業日を入力せずにGTC条件を付した場合は、取引最終日の取引時間帯終了時まで効力を有する。 GTC条件が付された注文(GTC注文)は、各営業日のオンライン時間帯終了時まで、変更・取消が可能である。
③有効セッション指定条件(GIS(Good In Session)条件)	<ul style="list-style-type: none"> プレオープン時間帯又は日中取引時間帯に付されて発注された場合は日中取引時間帯の終了時まで、夜間取引時間帯に付されて発注された場合は夜間取引時間帯の終了時まで効力を有するという条件。 指値注文にのみ付することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> プレオープン時間帯及び日中取引時間帯はセッション1、夜間取引時間帯はセッション2とする。
(3) 呼び値の受付制限	<ul style="list-style-type: none"> 本取引所の定める基準価格から一定の幅を超えた価格にて呼び値（高い買呼び値・安い売呼び値）を行おうとする場合、本取引所は当該呼び値の受付を拒絶することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 価格の継続性の維持及び取引参加者の誤入力防止の観点から設けているが、全ての誤入力防止を保証するものではない。 呼び値の受付制限値幅内にあった既存の呼び値が市場の変動により呼び値の受付制限値幅外となった場合は、引き続き有効とする(取消されない)。
(4) 自己/受託区分	<ul style="list-style-type: none"> 呼び値を行う際は、当該呼び値が自己の計算に基づくものか顧客の委託に基づくものかの区分を入力するものとする。 	
(5) 数量の訂正	<ul style="list-style-type: none"> 未約定の呼び値について、当該呼び値に係る数量を削減することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数量を増加させる場合は、当該呼び値を一旦取消したうえ、新たな呼び値を増加した数量により行うものとする。

項 目	内 容	備 考
3. 付合せの方法 (1) オークション方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金利先物等取引の付合せはオークション方式を原則とし、個別競争取引により成立する。 ・ オークション方式における呼び値の順位は、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> a. 低い価格の売呼び値は高い価格の売呼び値に優先し、高い価格の買呼び値は低い価格の買呼び値に優先して約定する。(価格優先の原則) b. 同一価格の呼び値は、呼び値が行われた時の先後により、先に行われた呼び値は後に行われた呼び値に優先して約定する。(時間優先の原則) ・ 個別競争取引においては、3. (2)の場合を除き、売呼び値の競合、買呼び値の競合及び売呼び値と買呼び値の争合により、最も低い価格の売呼び値と最も高い価格の買呼び値とが合致するとき、その価格を約定価格として取引が成立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一価格に指値注文とインプライド注文が存在する場合は、指値注文が優先して約定する。 ・ インプライド機能については、4.(5)参照。
(2) 付合せ時間帯開始時における付合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 付合せ時間帯開始時における付合せは、指値注文（プレオープン時間帯になされた指値注文と、前日から引き継がれたGTC条件付き指値注文を合わせたもの）を対当させ、取引が成立した場合に約定数量が最大となる一本値を算出し、当該価格（以下「アंकロッシング価格」）に基づき付合せ処理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いわゆる板寄せ方式と同様の処理を行う。 ・ 取引の停止及び一時中断が行われた後の取引再開時における付合せも同様の処理を行う。 ・ アंकロッシング価格の算出方法は別紙1のとおり。 ・ 付合せ時間帯開始時における付合せ処理の詳細は別紙2のとおり。
4. ストラテジー取引	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本取引所が定める価格の算出方法により得た数値（ストラテジー価格）に基づき呼び値を行う取引であり、当該呼び値により取引が成立したときは、当該ストラテジー取引の対象となる複数の売付取引又は買付取引が同時に成立する。 	

項 目	内 容	備 考								
(1) ストラテジー取引の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー取引の種類は、下表の通り。 <table border="1" data-bbox="506 221 1352 472"> <thead> <tr> <th>商品</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユーロ円3ヵ月金利先物</td> <td rowspan="3">カレンダーズプレッド</td> </tr> <tr> <td>無担保コールON金利先物</td> </tr> <tr> <td>ユーロ円LIBOR 6ヵ月金利先物</td> </tr> <tr> <td>ユーロ円3ヵ月金利先物オプション取引</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	商品	種類	ユーロ円3ヵ月金利先物	カレンダーズプレッド	無担保コールON金利先物	ユーロ円LIBOR 6ヵ月金利先物	ユーロ円3ヵ月金利先物オプション取引	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用頻度の高い先物のカレンダーズプレッドに限定。 ・ カレンダーズプレッドとは、期近限月取引の買付(売付)取引と期先限月取引の売付(買付)取引が1単位ずつ成立する取引をいう。 ・ オプション取引について、ストラテジー取引を行うことはできない。
商品	種類									
ユーロ円3ヵ月金利先物	カレンダーズプレッド									
無担保コールON金利先物										
ユーロ円LIBOR 6ヵ月金利先物										
ユーロ円3ヵ月金利先物オプション取引	なし									
(2) 呼び値(注文)										
①最小変動幅	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー呼び値の最小変動幅は、ストラテジー取引の対象となる先物取引の最小変動幅と同様とする。 									
②価格の算出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー価格は、期近限月取引の価格から期先限月取引の価格を減じることにより算出する(カレンダーズプレッド)。 									
③呼び値の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー取引における呼び値の方法は、指値注文及び成行注文とする。 									
④条件の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー呼び値に付することができる条件は、有効営業日指定条件(GTC条件)及び有効セッション指定条件(GIS条件)とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジーの呼び値に寄付条件は付すことができない。 								
(3) 取引の方法										
①取引時間帯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引時間帯は、ストラテジー取引の対象となる先物取引と同一とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー取引は、プレオープン時間帯から発注することができる。 								
②取引方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引方法は、ストラテジー取引の呼び値として入力するものとする。 									

項 目	内 容	備 考
(4) ストラテジー取引からの振替	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー取引が成立した場合、本取引所はその組合せに従いそれぞれのアウトライト取引に振り替えるものとする。 ・ 振り替えられるアウトライト取引の約定価格は、ストラテジー取引の約定価格を基に本取引所が定め、取引参加者に通知する。 ・ ストラテジー取引の成立により振り替えられるアウトライト取引については、同一の顧客又は自己の計算による取引とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ アウトライト取引とは、単独の限月又は銘柄の取引をいう。 ・ 建玉については、振り替え後のアウトライト取引の建玉として管理する。 ・ 転売・買戻し申告についても、振り替え後のアウトライト取引に対して行う。
(5) インプライド機能		
①インプライドイン機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ インプライドイン機能とは、対象となるアウトライト取引の呼び値を組み合わせることにより、カレンダーस्पレッドの呼び値を発生させることをいう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インプライドイン機能により派生される呼び値は、派生元における最良価格の呼び値を用いて生成する。また、派生先において市場の最良価格での呼び値となる場合に表示される。 ・ インプライド機能の具体例は、別紙3を参照。
②インプライドアウト機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ インプライドアウト機能とは、カレンダーस्पレッドにおいて、カレンダーस्पレッドの呼び値とアウトライト取引の呼び値とを組み合わせることにより、対象となる他方のアウトライト取引の呼び値を発生させることをいう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インプライドアウト機能により派生される呼び値は、派生元における最良価格の呼び値を用いて生成する。また、派生先において市場の最良価格での呼び値となる場合に表示される。
5. ブロック取引	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引参加者は、アウトライト取引について、ブロック取引を行うことができる。 ・ 申込時間は、日中取引時間帯及び夜間取引時間帯の終了前の15分間を除いた付合せ時間（午前11時30分から午後0時30分を除く。）とする。 ・ 最低申込数量は100枚とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ストラテジー取引について、ブロック取引を行うことはできない。

項 目	内 容	備 考
6. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ リクエスト・フォー・クォート (RFQ)、比例配分方式 (プロラタ方式) 及びオプション取引におけるキャビネット取引の機能を削除する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リクエスト・フォー・クォートとは、取引参加者が取引する意図を持って、他の取引参加者に対し呼び値の呈示を求めることをいい、取引端末を通じて行うことができる。 ・ 比例配分方式とは、同一価格の注文が複数存在している状況において約定する場合、各注文数量に比例して約定数量が配分され成立する付合せ方式をいう。 ・ キャビネット取引とは、取引参加者が値段ゼロにて呼び値を行い、ゼロにて取引が成立した時は本取引所が別に定める値段により成立したとみなす取引をいう。

以 上

次期システム稼働後の付合せ時間帯開始時における アンクロッシング価格の算出方法について

1. 対当する買注文の累計数量（買累計）と対当する売注文の累計数量（売累計）を算出し、対当可能範囲を絞り込む

<条件1>

- (1) 価格の高い順から、「買累計>売累計」となる価格を絞り込む。
 (2) 価格の低い順から、「売累計>買累計」となる価格を絞り込む。
 （「買累計>売累計」となる価格では、売注文が全数量執行できる。）

3月限				
	offer	価格	bid	
↑ 売累計	60	99.010		0
	60	99.005	20	20
	30	99.000	10	30
	30	98.995	20	50
	10	98.990		50
	0	98.985		50
				↓ 買累計

(1) 買累計>売累計となる最も高い価格は、98.995
 (2) 売累計>買累計となる最も安い価格は、99.005
 ⇒98.995、99.000、99.005 に絞りこまれる。

2. 当該価格の売注文と買注文のどちらか一方が全数量執行される価格を特定する

<条件2>

条件1で絞り込んだ価格について、
 「当該価格の買累計≧当該価格の1ティックサイズ分安い価格の売累計」となり、かつ、
 「当該価格の売累計≧当該価格の1ティックサイズ分高い価格の買累計」となる価格を絞り込む。

3月限				
	offer	価格	bid	
↑ 売累計	60	99.010		0
	60	99.005	20	20
	30	99.000	10	30
	30	98.995	20	50
	10	98.990		50
	0	98.985		50
				↓ 買累計

(1) 当該価格の買累計≧当該価格の1ティックサイズ分安い価格の売累計となるのは 99.000～98.995
 (2) 当該価格の売累計≧当該価格の1ティックサイズ分高い価格の買累計となるのは 99.005～98.995
 ⇒98.995、99.000 に絞りこまれる。

3. 基準価格と一致する、又は近い価格に絞り込む

<条件3>

条件2で特定した価格が複数存在するときは、基準価格と同じ価格が存在する場合は基準価格とし、存在しない場合は最も近い価格を始値とする。

3月限				
	offer	価格	bid	
↑ 売累計	60	99.010		0
	60	99.005	20	20
	30	99.000	10	30
	30	98.995	20	50
	10	98.990		50
	0	98.985		50
				↓ 買累計

基準価格（前日公式終値又は本取引所が定める価格）が98.995の場合は、98.995が始値となる。

以上により、98.995にて30枚約定する。（約定する注文を網掛けにて表示。）

参考：現行システムにおける付合せ時間帯開始時の価格の算出方法

1. 全ての売呼び値及び全ての買呼び値について付合せがなされる場合

付合せがなされる全ての売呼び値の価格のうち最も高い価格と付合せがなされる全ての買呼び値の価格のうち最も低い価格との平均値

3月限		
offer	価格	bid
	99.010	
	99.005	20
	99.000	10
	98.995	
20	98.990	
10	98.985	

(1) 付合せがなされる全ての売呼び値の価格のうち、最も高い価格 ⇒98.990
 (2) 付合せがなされる全ての買呼び値の価格のうち、最も低い価格 ⇒99.000
 (3) 上記(1)と(2)の平均値 ⇒98.995
 (4) 以上より、始値は98.995となる。

2. 全ての買呼び値について付合せがなされるが一部の売呼び値については付合せがなされない場合
付合せがなされる売呼び値の価格のうち最も高い価格

3月限		
offer	価格	bid
	99.010	
30	99.005	20
	99.000	10
20	98.995	
10	98.990	
	98.985	

(1) 付合せがなされる売呼び値の価格のうち、最も高い価格 ⇒98.995
 (2) 始値は98.995となる。

3. 全ての売呼び値について付合せがなされるが一部の買呼び値については付合せがなされない場合
付合せがなされる買呼び値の価格のうち最も低い価格

3月限		
offer	価格	bid
	99.010	
	99.005	20
	99.000	10
20	98.995	30
10	98.990	
	98.985	

(1) 付合せがなされる買呼び値の価格のうち、最も低い価格 ⇒99.000
 (2) 始値は、99.000となる。

4. 一部の売呼び値及び一部の買呼び値について付合せがなされない場合

次の(1)及び(2)に掲げる価格の平均値

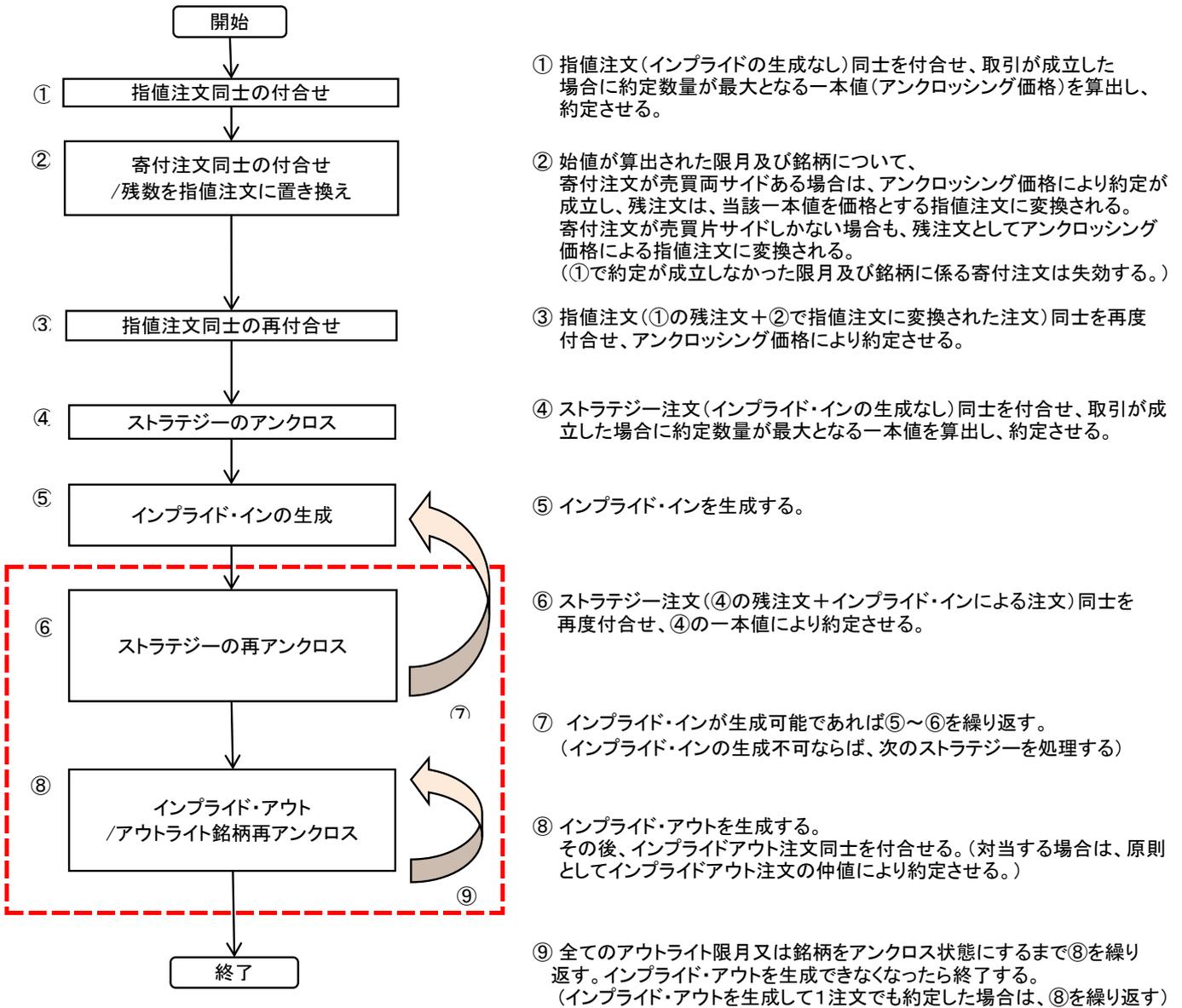
- (1) 付合せがなされる買呼び値の価格のうち最も低い価格と、付合せがなされない売呼び値の価格のうち最も低い価格とを比較して、低い方の価格
- (2) 付合せがなされる売呼び値の価格のうち最も高い価格と、付合せがなされない買呼び値の価格のうち最も高い価格とを比較して、高い方の価格

3月限		
offer	価格	bid
10	99.010	
	99.005	20
	99.000	10
	98.995	
	98.990	5
30	98.985	

(1) 付合せがなされる買呼び値の価格のうち最も低い価格(99.000)と、付合せがなされない売呼び値の価格のうち最も低い価格(99.010)とを比較して低い価格 ⇒99.000
 (2) 付合せがなされる売呼び値の価格のうち最も高い価格(98.985)と、付合せがなされない買呼び値の価格のうち最も高い価格(98.990)とを比較して高い価格 ⇒98.990
 (3) 上記(1)と(2)の平均値 ⇒98.995
 (4) 始値は98.995となる。

以上

付合せ時間帯開始時における付合せ方式



【処理単位】

- ①～③ : 各限月単位に全限月分繰り返す。(中心限月を処理後、期近から期先の順に処理する)
- ④～⑦ : ストラテジー単位に全ストラテジー分繰り返す。(中心限月関連を処理後、期近から期先の順に処理する)
インプライド・インを売買2注文生成し、**インプライドイン価格を対等価格として約定させる。**
- ⑧～⑨ : インプライド・アウトを1注文ずつ生成し、
インプライドアウト注文価格の仲値を対当価格とする(端数は期先限月を含むインプライドアウト側に与える)

インプライド機能について

インプライド機能とは、異なる限月の売呼び値と買呼び値を組み合わせることでカレンダー・スプレッドの呼び値を派生させること（インプライド・イン機能）や、カレンダー・スプレッドの呼び値とアウトライイト取引の呼び値を組み合わせることで対象となるアウトライイト取引の呼び値を派生させること（インプライド・アウト機能）を通じ、市場の流動性を高める機能です。

1. インプライド・イン機能の具体例

インプライド・イン機能とは、対象となるアウトライイト取引の呼び値を組み合わせることにより、カレンダー・スプレッドの呼び値を派生させることをいう。

【具体例】先物カレンダー・スプレッド（3月限／6月限）

先物3月限			先物6月限			3月限／6月限カレンダー・スプレッド		
売	価格	買	売	価格	買	売	価格	買
	99.500		100 B	99.400			0.100	
	99.495			99.395			0.095	
	99.490	100 A		99.390			0.090	100(A+B)
	99.485			99.385			0.085	

インプライド注文

【説明】

- ・先物3月限におけるトレーダーAの注文は、99.490で買いたいとする注文。
- ・先物6月限におけるトレーダーBの注文は、99.400で売りたいとする注文。
- ・したがって、トレーダーA及びトレーダーBの注文を組み合わせることにより、3月限／6月限カレンダー・スプレッド市場に価格0.090のインプライド買注文（3月限を99.490で買って、6月限を99.400で売る）が派生される。これをインプライド・イン機能という。

【約定について】

ケース①：インプライド注文の約定

- ・トレーダーCが3月限／6月限カレンダー・スプレッド市場にて価格0.090（100枚）の売注文を発注した場合、トレーダーA及びトレーダーBの先物市場での注文はそれぞれ約定する。

ケース②：インプライド注文の自動取消（トレーダーAの注文の約定による）

- ・トレーダーDが先物3月限にて価格99.490（100枚）の売注文を発注した場合、トレーダーAの注文は約定し、3月限／6月限カレンダー・スプレッド市場のインプライド注文は自動的に取消される。

ケース③：インプライド注文の自動取消（トレーダーBの注文の約定による）

- ・トレーダーEが先物6月限にて価格99.400（100枚）の買注文を発注した場合、トレーダーBの注文は約定し、3月限／6月限カレンダー・スプレッド市場のインプライド注文は自動的に取消される。

2. インプライド・アウト機能の具体例

インプライド・アウト機能とは、カレンダーズプレッドにおいて、カレンダーズプレッドの呼び値とアウトライト取引の呼び値とを組み合わせることにより、対象となる他方のアウトライト取引の呼び値を発生させることをいう。

【具体例】先物カレンダーズプレッド（9月限／12月限）

9月限／12月限カレンダーズプレッド			先物9月限			先物12月限		
売	価格	買	売	価格	買	売	価格	買
	0.085			99.190			99.115	
	0.080		100 B	99.185		100 A	99.110	
	0.075	100 A		99.180			99.105	
	0.070			99.175			99.100	

↑
インプライド注文

【説明】

- ・9月限／12月限カレンダーズプレッド市場におけるトレーダーAの注文（0.075の買い）は、先物9月限を買って先物12月限を（9月限の約定価格－0.075）の価格にて売りたいとする注文。
- ・トレーダーAは、9月限を価格99.185で買うことが可能なため、先物12月限を価格99.110（99.185－0.075）で売ることができれば、トレーダーAの要求は満たされる。
- ・したがって、先物12月限においてトレーダーAによる価格99.110のインプライド売注文が派生される。これをインプライド・アウト機能という。

【約定について】

ケース①：インプライド注文の約定

- ・トレーダーCが先物12月限にて価格99.110（100枚）の買注文を発注した場合、トレーダーAのインプライド注文が約定することに伴い、トレーダーBが先物9月限にて価格99.185（100枚）で発注していた売注文の約定、及び、トレーダーAが発注していた先物9月限を買って先物12月限を（9月限の約定価格－0.075）の価格にて売りたいとするストラテジー注文が約定することとなる。

ケース②：インプライド注文の自動取消（トレーダーAの注文の約定による）

- ・トレーダーDが9月限／12月限カレンダーズプレッド市場にて価格0.075（100枚）の売注文を発注した場合、トレーダーAのストラテジー注文は約定する。その結果、先物12月限のインプライド注文は自動的に取消される。

ケース③：インプライド注文の自動取消（トレーダーBの注文の約定による）

- ・トレーダーEが先物9月限にて価格99.185（100枚）の買注文を発注した場合、トレーダーBの注文は約定する。その結果、先物12月限のインプライド注文は自動的に取消される。

3. 留意事項

インプライド注文を元にして更にインプライド注文が派生（二次派生）されることはない。

以上